

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼B&G海洋センター			検証日	令和6年7月8日	
	所管課担当名	生涯学習課 勝沼生涯学習・公民館担当		課長名	小林 好彦	作成者名	後藤 みすず
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 橋本 篤幸				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月 ~ 令和8年(2026年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	3名	開館日時間等	・6月、9月:(土日・祝日のみ開館)午後2時~5時 ・7月、8月:午前10時~午後1時及び午後2時~5時 ※休館日:営業期間中は毎週月曜日 :10月1日~翌年5月31日
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)海洋センターの利用の許可に関すること (2)海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3)海洋センターの利用に係る料金に関すること (4)海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
	自主事業	(1)水泳教室 (2)水辺の安全教室・ライフジャケット浮遊体験 (3)わくわくSUP教室 (4)クリーン活動 (5)海ごみゼロフェスティバル					

管理運営コスト推移(千円)		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	5,800	5,800	5,800		
	利用料金収入	50	150	120		
	その他収入	110	110	130		
	管理運営経費	5,960	6,060	5,990		
決算	指定管理料	5,800	5,800	5,800		
	利用料金収入	114	79	85		
	その他収入	133	129	87		
	管理運営経費	5,640	5,736	5,666		
	収支	407	272	306		
施設の稼働状況		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
指標	利用者数(人)	4,989	5,542	6,369		
	自主事業利用者数(人)	256	142	111		
活動結果		令和5年度事業計画に基づき、適切な施設管理を行ったうえで効果的な運営により、支出の削減に努めることができています。				

評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(1)事業の運営	3	・基本協定書及び事業計画書のとおり適切に管理運営が行われている。所管課と連携を図り、様々な事業を行うことにより、利用者の確保に努めている。 ・施設内外の利用者の安全第一を考え、事故けが等なく営業することができている。
(2)施設の維持管理	3	・施設内の整備等については定期的に巡回、点検等を実施し適正な維持管理に努めている。 ・プール内の水質管理や室温管理等について日常的に点検を実施している。 ・施設外の植栽など定期的に清掃等実施し、景観の維持管理に努めている。
(3)収入支出	3	・光熱水費や事業実施経費を抑えられたことや、その他の項目においても節約をすることで支出額の抑制に努めており、黒字で管理運営を行うことができています。
(4)総合評価		
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	協定書及び事業計画書のとおり管理運営が適正に実施されている。利用者等の安全を第一に考え、快適に施設の利用ができるように、施設内外の維持管理も行われている。

評価結果に対する施設所管課の対応	
当面の課題	・昨年に比べ利用人数は増えているが、施設利用収入等が計画に達していないため、6月から9月までの運営のなかで、いかに一般の利用者の増加を図ることができるかが課題である。 ・ロッカーの故障箇所について、修繕が必要である。
課題解決への対応	・自主事業については、新しい事業を取り入れるなかで、募集定員に達しない事業については見直しを行い、更なる集客を図る。 ・ロッカーの修繕については、令和6年度予算に計上しているため、年度内に対応する。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
- ・着実に利用者を増加させることができています。引き続き、利用者等の安全を第一に考え、快適に施設の利用ができるように努めていただきたい。
- ・物価高騰の影響もある中で、経費削減の取り組みも継続し、安定した経営に取り組んでいただきたい。